

令和3年度指定管理運営業務評価票

施設名称：大阪府立臨海スポーツセンター	指定管理者：南海ビルサービス株式会社	指定期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課
---------------------	--------------------	-------------------------	----------------------

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価
			S～C		S～C		S～C
I 提案の履行状況に関する項目	(1) 施設の設置目的及び管理運営方針	①施設の設置目的に沿った運営	A	▶利用者との調整やサービス提供などを円滑に行うとともに、指定管理者が他の施設等で培った管理運営のノウハウを活かし、スポーツ振興を図ることができている。  ▶職員に対して個人情報の厳重な管理などを徹底できている。  ▶社会貢献活動として、高校生の職場体験の受入態勢を整えることができている。 ▶大阪府暴力団排除条例等に基づき、利用団体（者）の確認を行っている。（府警照会件数：なし）	A		
		②提案した管理運営方針に沿った管理					
	③社会貢献活動、環境活動、法令遵守の取組み						
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	①公平なサービス提供、対応状況	①平等かつ公平なサービスを提供するため、関係法令の遵守等グループ全体でコンプライアンスの徹底を行っている。 年間の利用日程調整を行い、利用団体へ通知し、年間利用計画を策定している。	A	▶年間利用計画を作成する際は、利用団体（者）への通知から利用日調整まで公平性を保って実施できている。  ▶高齢者及び障がい者に対する利用体制を整えることができ、高い水準でのサービスが提供できている。 ▶障がい者のスケートリンク利用が多く、駐車場無料などからも利用者の満足度は高いと思われる。	A		
	②高齢者、障がい者等に対する配慮	②高齢者、障がい者の方が利用しやすいように、受付に筆談ボードや障がい者団体の減免措置など配慮した体制を実施している。 ホームヘルパーの有資格者の指導の下に高齢者、障がい者等の利用に配慮した体制を構築している。 障がい者に対しては、スケートリンク個人利用、駐車場を無料としている。					
施設の効用を最大限発揮するための方策	(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	①利用者増を目指したにぎわいづくり方策の取組み ②年間の広告・広報計画等の情報発信の取組み 〔指標〕利用者数 令和2年度実績： 人 令和3年度目標： 人 9月末現在実績： 人	/	/	/	/	/
		〔参考指標〕利用者数 令和2年度実績：117,035人 令和3年度目標：152,636人 9月末現在実績：38,910人（前年同月比78.9%）					
(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果	①提案のあったサービス向上策の取組み	①開館時間の延長や休日開館を実施し、利用者ニーズに柔軟に対応している。 ・2021年度休館日開館予定：4日間 ・チラシ、HP、LINE、twitterへのアップによるイベント・トピックス・自主事業の情報提供。 ・安全衛生推進会議を毎月行い、人権啓発研修（2021年8月）等の各種研修を提案どおり実施。	A	▶開館時間の延長や休館日の開館など、利用者ニーズに柔軟に対応するための対応が幅広くできている。 ▶自主事業の情報をHPなどに掲載し、周知に努めている。  ▶スポーツ教室については、利用者が安心して参加できるよう感染症対策に重点を置いた上で開催できている。 ▶受講者増加を図るため、駅構内にチラシ広告を掲載している。  ▶備品貸出時、返却時に確認を行い、不具合・危険個所の点検を徹底しトラブル防止に取り組んでいる。 ▶館内外の点検実施で、施設設備の状態把握に努めている。	A		
		②南海ビルサービスによるスポーツ教室（9教室）を開催している。 自主事業の不定期教室（スケート短期教室）を開催したり、新規受講者および新規受講者紹介につき受講料半額キャンペーンを駅構内にチラシを掲載し、広告した。					
		③施設設備、機能を十分に活用出来るようサービス向上に努めている。 ・スポーツ備品の貸出、返却時に目視点検を行い、不具合危険個所の抽出にあたった。 ・館内外巡視点検：毎日1回の目視点検を実施し安全向上に努めた。					

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価
			S～C		S～C		S～C
I 提案の履行状況に関する項目	(5) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	①施設設備の効果的な維持管理	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶点検年間予定表に基づき、維持管理が実施できている。</li> <li>▶朝礼時、スタッフ間で注意事項等の共有ができている。</li> <li>▶LED化により、利用者満足度の向上につなげている。</li> </ul>	A		
		②施設設備の安全管理					
	③緊急時の危機管理体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶危機管理マニュアルの徹底や消防訓練の実施により、緊急時の対応やスタッフの意識向上を図ることができている。</li> </ul>					
(6) 収入確保策の実施	①広告収入等の収入確保策の取組み	① デジタルサイネージ、バナー広告については広告主を開拓中	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶新たにデジタルサイネージの取組みは、実現していない。</li> </ul>	C		
	②提案どおり実施されているか。	② 提案どおりの収入確保に取り組んでいる。		<ul style="list-style-type: none"> <li>▶R3上半期においては広告収入の実績はなく、収入確保に向けた取組みを行っていく必要がある。</li> </ul>			
その他管理に際して必要な事項	(7) 府施策との整合	①府、公益事業協力等の取組み	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶府の啓発掲示物への積極的な協力がなされており、「こども110番の家」の協力施設にもなっている。</li> </ul>	A		
		②行政の福祉化の取組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>▶行政の福祉化の取組みとして、提案どおり知的障がい者の雇用率が達成できている。</li> </ul>			
		③市民・NPOとの協働の取組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>▶提案のどおり、就労支援センターから2名の雇用ができている。</li> </ul>			
		④環境問題への取組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>▶環境問題に重点を置き、指定管理者が属するグループ全体でCO2削減に取り組んでいる。</li> </ul>			
I 総括		6項目（24点満点）	A	6項目（24点満点）	A		

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価
			S~C		S~C		S~C
II さらなるサービスの向上に関する事項	(1)利用者満足度調査等	①利用者満足度調査等の実施状況 ②調査結果のフィードバック（PDCA）					
	(2)自主事業	①さらなるサービス向上の取組み 〔指標1〕自主事業参加者数 R2実績： 人、上半期実績： 人 R3目標： 人、上半期実績： 人 〔指標2〕自主事業収入状況 R2実績： 千円、上半期実績： 千円 R3目標： 千円、上半期実績： 千円	〔参考指標1〕自主事業参加者数 R2実績：-人、上半期実績：-人（前指定管理者実施のため省略） R3目標：21,700人、上半期実績：7,770人 〔参考指標2〕自主事業収入状況 R2実績：-千円、上半期実績：-千円（同上） R3目標：■■■■千円、上半期実績：■■■■千円（達成率■■■%）				
	(3)その他創意工夫	①その他創意工夫の取組み	①個人情報保護マネジメントシステム自覚教育資料を使用し、テスト方式による研修を実施した。 大版プリンターを利用しB1、B2大のポスターを印刷し、自主事業、お知らせ等の告知に活用した。 危険予知（KY）により館内外に潜む危険箇所の抽出を行い、注意喚起の掲示、表示等を行った。	A	➤職員の能力向上を図るため、研修内容のテストに取り組んでいる。 ➤自主事業のポスター（B2版）を南海本線の近隣5駅（堺、羽衣、泉大津、岸和田、泉佐野）に掲載し、PRすることができている。	A	
	II 総括		1項目（4点満点）	A	1項目（4点満点）	A	
III 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度	①事業収支計画、事業収支実績状況 〔指標〕R3収支計算書（プロポーザル） 収入： 千円、見込み： 千円 支出： 千円、見込み： 千円 納付金： 千円、見込み： 千円	〔参考指標〕R3収支計算書 収入：■■■■千円、見込み：■■■■千円 支出：■■■■千円、見込み：■■■■千円 納付金：3,190千円、見込み：同左				
	(2)安定的な運営が可能となる人的能力	①職員体制・配置 ②管理監督体制・責任体制 ③指導育成、研修体制	①プロポ提案時に比較して、パート社員、正社員を増員している。 【提案時の職員体制】非常勤社員●名（本社）、正社員●名、嘱託社員●名、パート社員●名、臨時職員●名、合計●名 【2022年1月現在の職員体制】非常勤社員●名（本社）、正社員●名、嘱託社員●名、パート社員●名、臨時職員●名、合計●名 ②センターに常駐の支配人が、経理部門、事業部門、維持管理部門全体の把握を行い、各部門の業務調整を行っている。 管理監督責任体制を明確にしている。 スタッフミーティング（毎日1回）を実施し、お客様からの要望、施設の維持、イベント等の情報共有を行っている。 ③個人情報保護、情報公開研修、人権啓発研修、リーダーシップ研修、救急救命講習会、OJT（随時）など職員の育成、スキルアップに努めている。	A	➤適切な人員配置により、円滑な管理運営体制を築くことができている。 ➤管理監督体制及び責任体制が明確化され、スタッフミーティング（毎月）の取り組みを行うことなどにより、円滑な施設運営を実施することができている。 ➤職員研修でのテスト実施などを通じて、職員の育成、資質向上に取り組んでいる。	A	
	(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤	①法人等事業者の経営規模、事業規模、組織規模等の運営基盤 ②法人等事業者の財務状況	①南海ビルサービス株式会社の経営概要 経常利益 ■■■■百万円 ・ビル、ホテル、空港などにおける設備機器の運転保守管理業務、客室整備、警備業務および清掃等衛生管理業務 ・駅、鉄道施設における駅務自動化機器および照明、放送等電気設備の保守管理業務・建築物における各種設備の改造修繕取替工事の設計、施工および工事請負・ビル、店舗、住宅、マンション等、リフォーム工事の設計、施工、監理 ・テレビジョン電波受信障害対策施設の設計、施工および維持管理業務 ・不動産の管理、賃貸借、売買および仲介 ・ビル・マンション等の管理 ・都市や宅地の緑化計画、土木外溝・造園・室内装飾の設計・施工。緑の維持管理。緑のリース、フラワーショップの運営 ・高齢者専門宅配弁当事業 ②南海ビルサービス株式会社の財務状況（2020年度） 自己資本合計■■■■千円、資産合計■■■■千円、 流動資産合計■■■■千円、流動負債合計■■■■千円、 固定資産合計■■■■千円、経常利益■■■■千円、 自己資本比率■■■%、流動比率■■■%、固定比率■■■%	A	➤運営基盤は、概ね安定していると認められる。	A	
	III 総括		2項目（8点満点）	A	2項目（8点満点）	A	
					年度評価	A	